

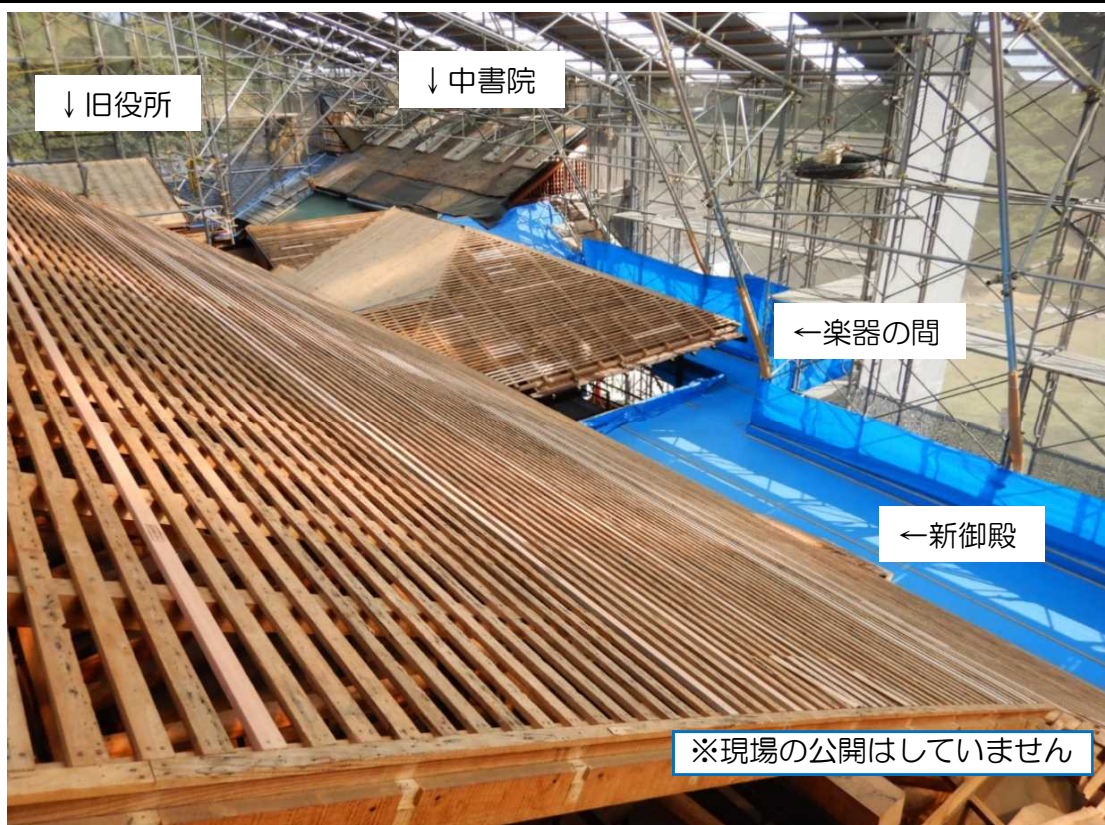


南側から見た素屋根に覆われた書院の状況。



※現場の公開はしていません

新御殿の軒先から見た葺替前の柿葺状況。
前回の葺替から20年以上経過し、屋根面の劣化がみられます。



手前に新御殿，その奥に楽器の間，中書院の屋根が雁行形に並んでいます。



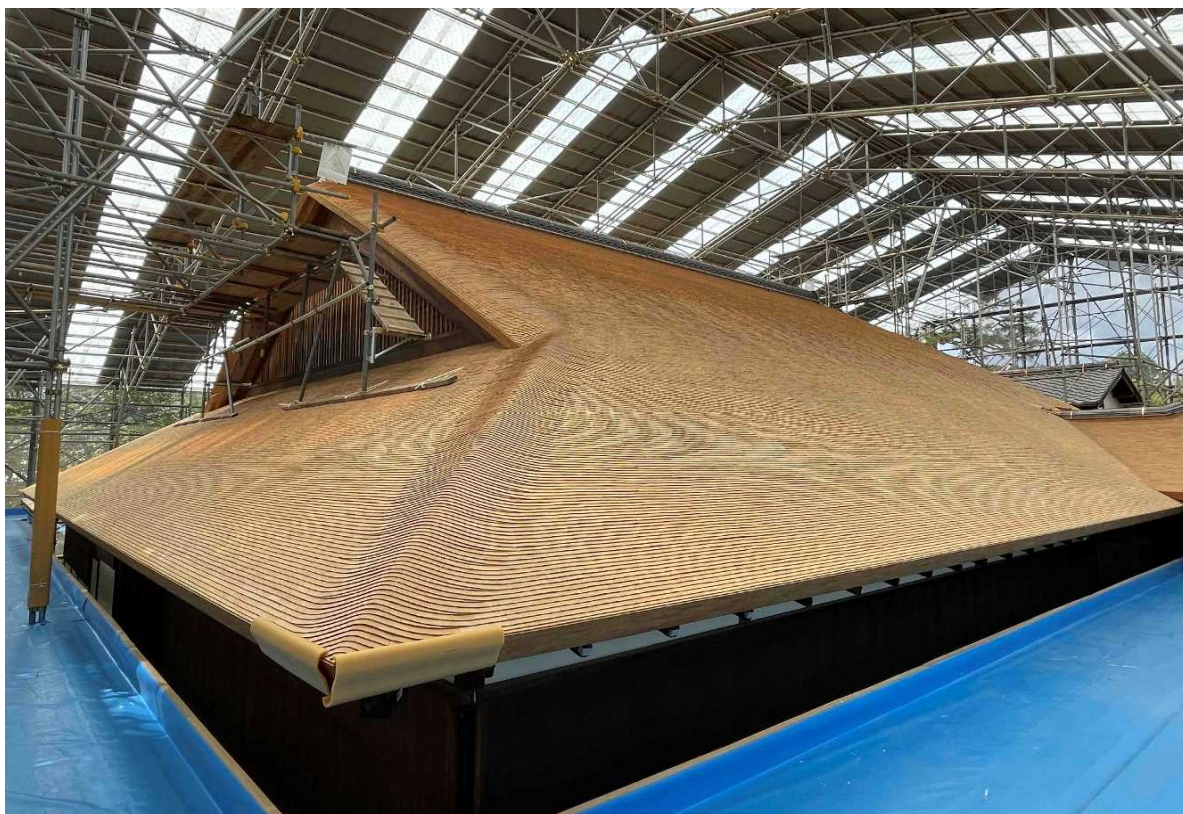
の じ いた もくしたじ
野地板等の木下地が確認できます。ここに柿板で屋根を葺き上げていきます。



北面で日当たりが悪い環境であったため、写真中央の野地板が劣化及び破損しています。



劣化した野地板（杉赤身材）を取り替えました。新材の一部には、後の整備工事で時期が確認できるよう、「令和三年度修補」という刻印をしています。



新御殿の軒先から見た葺替後の柿葺状況。



中書院北側から見た葺替後の柿葺及び瓦葺状況。



南側から見た素屋根撤去後の新御殿及び素屋根に覆われた古書院、中書院の状況。



※参観コースから、透明パネルを通し、一部をご覧ください。

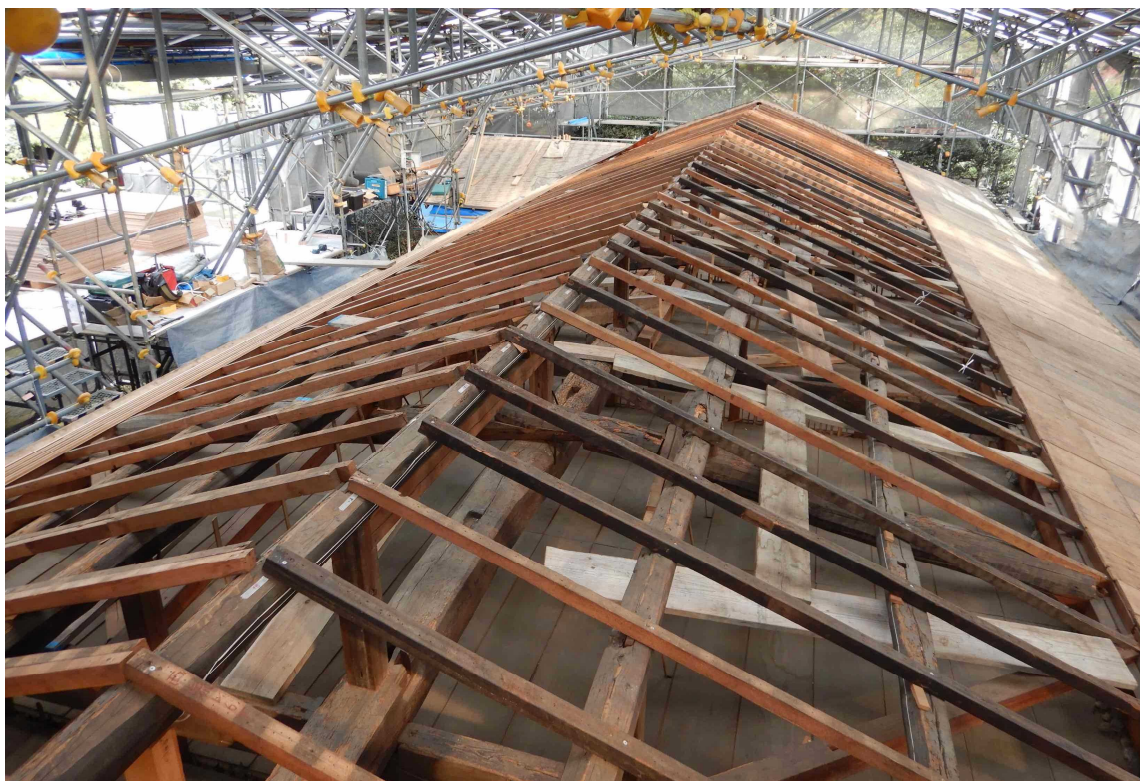
古書院の軒先から見た葺替前の柿葺状況。
前回の葺替から20年以上経過し、屋根面の劣化がみられます。



古書院の^{のじいた}野地板等の木下地が確認できます。



劣化した野地板（杉赤身材）を取り替え、柿板^{のきつけ}で軒付^{ひらぶ}、平葺きの順に屋根を葺き上げます。柿板の間へ入れる^{ふきこみ}葺込銅板には柿葺きの腐朽を抑える効果があると言われています。



しんかひかえじょ

臣下控所の瓦や下地材撤去後の屋根の状況。ここに耐震補強として構造用合板を取り付けます。

こうぞうようごうはん



※現場の公開はしていません。

構造用合板取付後の屋根の状況。防水シートと^{さんぎ}棧木を取り付けた後に、瓦で屋根を葺き上げていきます。



古書院の軒先から見た葺替後の柿葺状況。



南側から見た古書院、中書院の素屋根撤去後の状況。



古書院東側の六葉が劣化していたため、金箔の貼替を行いました。



耐震診断の結果、古書院・中書院の床下補強が必要と判断されたため

すじかい
筋違補強を設置しました。



工事完了後の古書院の様子。^{つきみだい}月見台を取り替えました。



工事完了後の御殿を東側から池越しに見た状況。